

# News Letter

日頃は慶應義塾維持会の活動にご理解を賜りまして、心より御礼申し上げます。維持会は、明治34年の福澤諭吉先生逝去の折に、慶應義塾の維持運営のために寄付を行う会員組織として設立された伝統ある組織です。現在、維持会員数は約44,800名を数え、会員皆様のご厚志により維持会基金は約31億円に上っております。基金の運用益を維持会事業に充て、「維持会奨学金」をはじめ、義塾の教育・研究の振興、施設の拡充などに幅広く寄与しています。義塾のさらなる発展、また義塾で学ぶ優秀な塾生のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。また維持会を通じて義塾との絆を一層深めていただければ幸いです。

## 2011年度の維持会事業についてご報告いたします。

### ◆奨学支援事業（「慶應義塾維持会奨学金」） 40,750,000円

「維持会奨学金」として35都道府県・70名の塾生に支給いたしました。

### ◆東日本大震災により被災した塾生に対する 授業料減免の資金への助成 16,569,381円

義塾では、大規模自然災害による被災で経済的に修学が困難になった塾生に対し、授業料の減免を行っております。維持会からこの資金を助成いたしました。



## 2012年度の維持会事業についてお知らせいたします。

### ◆奨学支援事業（「慶應義塾維持会奨学金」） 41,000,000円

文・経・法・商・総合政策・環境情報学部から	50名・各50万円
医・理工・看護医療・薬学部から	20名・各80万円
計70名に支給いたします。	

### ◆東日本大震災により被災した塾生への奨学金 17,489,004円

義塾では、東日本大震災により被災し経済的に学業の継続が困難になった塾生に対し、2011年度に「慶應義塾東日本大震災被災塾生特別奨学金」を創設し経済的支援を行っています。2012年度も引き続き、本奨学金にて経済的な支援を行います。維持会からこの資金へ助成いたします。



### ◆「福澤諭吉記念文明塾」の運営資金として 3,000,000円

未来貢献のために学ぶという志を持った学生と社会人を集め、「対話と議論」を中心とした3ヶ月の教育プログラムを年2回開講しています。

多様な背景を持った仲間と繰り返される「対話と議論」により生まれる絆は、世界に通用する社会の気風を生み出す原動力となるでしょう。

講義録も公開しています。<http://member.fbj.keio.ac.jp/kogiroku/>



### ◆アントレプレナー支援資金 1,000,000円

義塾の学術的研究活動によって生み出された研究成果の社会的活用の促進を目的に、義塾の知的財産権の実用化に際して設立されるベンチャー企業に対して支援いたします。

## 2012年度維持会奨学生から 維持会員の皆様への感謝のメッセージを ご紹介いたします。 皆様の温かいご支援を よろしくお願いいたします。

維持会WEBサイトでは奨学生全員のメッセージを  
掲載しておりますので、是非ご覧ください。  
<http://www.kikin.keio.ac.jp/ijikai/>

\*掲載内容は一部抜粋しております。

例年、慶應義塾維持会奨学生の申請にあたっては、福澤諭吉先生の思想を改めて学ぶ非常に良い機会が得られていると実感しております。そして、塾生として今何をすべきか、自分にとっての学問とは何か、といった自分自身への多くの問い合わせを通じて深く現在の自分を見つめ直すことができました。その意味で慶應義塾維持会奨学生への申請、そして、採用から、私は奨学生のみならず非常に多くのことが得られました。また、慶應義塾維持会奨学生からのメッセージを通じて、経済的に苦しい中にも勉学に励んでいたりする同士の存在を知ることができたことも自分にとっては勉学への大きな励みとなりました。さらには、奨学支援事業のみならずキャンパス施設設備への支援などを通じて、私たち塾生が学生生活において慶應義塾維持会の皆様に非常にお世話になっていることも知りました。将来塾員となり今度は私が慶應義塾発展のための支援活動ができるよう今は勉学に真摯に励みたいと思っております。この度は慶應義塾維持会奨学生に採用していただき本当にありがとうございます。

●福岡県出身 文学部

一昨年の春、家計状況が好ましくない状況で、両親は経済学で伝統のある慶應義塾大学に進学したいという私の意志を尊重してくれました。今年の春に父が病に倒れたことであります経済的に追い詰められ、学生生活を続けて行けるのかと不安を抱えておりましたが、今後は安心して学習に取り組むことができます。私は今年度から学習の場が日吉キャンパスから三田キャンパスへ移り、経済学部の研究会に所属するようになりました。研究会はファイナンス理論とその基礎となる確率論を扱うもので、なかなか理解できずに苦しむこともありますが、毎日が充実しています。3年生になって、慶應義塾大学に入学してよかったですとより一層強く思うようになりました。私を大きく成長させてくれた慶應義塾大学と昨年の震災およびそれに続く原発事故の余波に苦しむ故郷のために将来どのように貢献できるのかを常に心に留めつつ精一杯勉学に励みます。

●福島県出身 経済学部

経済的には苦しいといつのことばかり考えてしまうのですが、この学生生活の2年半、僅かではありますが、公共性の高い活動にも参加しています。1年次には、日本の行く末についてのルポを英語で執筆し、日本外国特派員協会様のジャーナリズム奨学生にて1位をいただきました。2年次には、東日本大震災を受けて、宮城県南三陸町にてボランティア活動に参加し、仙台市の復興対策室を訪れ、雇用対策の提案を行いました。そして、現在、私の貧しい家庭状況のような小さな問題から復興のための大きな問題まで、国民が積極的に問題に参加し、意見を反映させることによって、包括的本質的に解決するためのオープンガバメントシステムの推進に注力しています。維持会奨学生によって、学業に加え、公共性の高い学外の活動にもより積極的に参加することができます。本当にありがとうございます。

●愛知県出身 法学部



慶應義塾大学に入学して以来、慶應義塾維持会の皆様からのご支援の御蔭で、今年度も無事に4年生に進級することができました。就職活動では氷河期と呼ばれる中で、幸いなことに6社から内定を頂くことができました。私はこれまでの人生を振り返り、奨学生機構の方々をはじめとする様々な人たちに助けていただいたことで、今の自分があると感じています。そこで、今後の人生を自分と同じような境遇に苦しむ学生のために使いたいと考え、大手企業の内定をお断りして、事業の一環として学生支援を手掛けているベンチャーのコンサルティングファームに就職すること決めました。この企業のフィールドを利用することで実現していきたい活動は多々ありますが、まずは、慶應義塾を支援する一員となることで、慶應義塾の更なる発展に微力ながらも貢献していきたいと考えています。まだまだ至らない点等が多々あるかとは思いますが、これをもって慶應義塾維持会の皆様への御礼とさせていただきたいと思います。この度は本当にありがとうございます。

●岐阜県出身 商学部



## 維持会奨学生

経済的理由により修学が困難な塾生に、学業に専念出来る環境を整えるため2007年に創設いたしました。全国の優秀な塾生に義塾で学んでもらうため地方出身者を優先としています。2012年度は、252名の応募があり、厳正な審査の下、愛塾精神に富んだ優秀な塾生70名（35都道府県）の採用が決定いたしました。これまでに46都道府県・353名が採用され、充実した学生生活を送っています。

私は理工学部に所属しており、材料系を専攻したいと考えているので他分野以上に広い知識、深い知識が必要であり、できるだけ多くの専門書を読むことが必要不可欠であると考えています。そのため頂いた奨学生は学費の他、書籍代に充てさせて頂き、大切に使わせて頂きます。私は大学院へと進学し、優れた研究者となることを目標としています。そして研究者として新しい機能を持つ材料を創出し、それが知識の財産として次の世代の研究者へと還元されていくことで、私を研究者へと導いて頂いた慶應義塾大学の発展や日本の発展、また世界の技術発展に寄与することができればと考えています。そしてそうすることが奨学生としての私の義務であり、また義塾の皆様への最大の恩返しであると考え、皆様のご厚情を胸にこの目標を達成できるよう成長していくことをここにお約束致します。

●静岡県出身 工学部



私は将来、地球温暖化防止政策の立案者になりたいと思っています。そのため大学では、国際関係を扱っている研究会での勉強に最も力を入れています。将来的には国際社会においても日本人として大きく貢献できる人材となるよう勉学に真摯に全力を尽くして大学生生活を送っています。今回維持会への採用を受給することができたおかげで、金銭的な不安に悩まされることなく、無理なアルバイト等で多くの時間を取られることもなくなりました。これからは学業のみに専念することができます。頂いた奨学生は、全額大学の授業料の支払いへと使用したいと考えています。夏にアルバイトに充てようと思っていた時間にインターネット活動なども行なっていきたいと計画しています。そして活動の範囲を学内だけに留まらせず、大学内で取得した知識が現場でどう活かされるのかを知り、実学としての学問を確立させたいと思っています。奨学生として、今回奨学生を給付して下さる慶應義塾維持会様への感謝と奉仕の心を忘れず日々邁進し、義塾にも社会にも、より大きく貢献できる人材となるよう誠心誠意励んでいきます。

●沖縄県出身 総合政策学部

私が医学部を志望した理由は、単に医師という職業に興味があるのみならず、医学研究や生物系の研究により、人間についてより深く理解し、またその研究内容を実際の臨床現場で応用し、病気に苦しむ人を救い、よりよい社会を作りたいからです。のために、単に医学だけではなく、幅広く自然科学系の分野を学ぼうと努力しているため、専門書もたくさん必要な状況であり、また勉強時間を確保するため、アルバイトとは両立しえない状況であります。そのような中、今回このような支援を頂いたことで、より一層勉学に打ち込み、またより深く学んでいくことができると思い、大変喜ばしく思うとともに、身の引き締まる思いが致しました。このご恩を無駄にしないよう、改めて、一生懸命勉学に励むことを決意した次第です。



●神奈川県出身 医学部



私は、社会人として日々を送るなかで医療について興味をもち、幅広く学べる慶應義塾に学士編入いたしました。入学前に十分な資金を用意していたつもりでしたが、授業料以外にも学習にさまざまな費用がかかり、予想以上の速さで貯蓄が目減りしていくことにストレスを感じていました。課題や自己学習が多く、育児中でもあるため、アルバイトができず、経済的な不安を抱えながら学生生活を送っていました。そのような折、このたびの奨学生により、安心して勉学に集中できることとなり、本当に安堵しております。入学以来、学業と育児の二足のわらじで奮闘している私に、学友や教員の方々はさまざまな配慮をしてくださいます。社会人経験や母親としての立場を尊重していただいていることを、折に触れて感じています。まさに「半学半教」「社中協力」を実感する日々です。応募者も多数であるなかでこの貴重な奨学生をいただいているということを重く受け止め、よりいっそう勉学に精進する所存です。そして、慶應義塾での学びを生かし、卒後は臨床経験を積み、医療の発展に尽力することをお約束いたします。社会貢献を通じて慶應義塾への恩返しができるよう、努力してまいりたいと存じます。

●大阪府出身 看護医療学部

# 2011年度 慶應義塾維持会決算

(単位:円)

収入の部	
寄付金	178,124,100
維持会基金運用収入	59,569,393
(1) 収入の部合計	237,693,493
支出の部	
維持会事業費	奨学支援事業 その他の財政支援事業
管理経費	会員用三田評論諸経費 事務経費
(2) 支出の部合計	91,712,960
収支差額(1)-(2)	145,980,533
年度末維持会基金残高	3,124,450,230

新規入会 796 件、継続 7,033 件、計 7,829 件の寄付金収入がありました。  
維持会基金運用収入は維持会事業費に充てられます。



維持会へのご寄付について、クレジットカード(インターネット)決済が可能となりました。

維持会 WEB サイトから直接お申し込みください。 <http://www.kikin.keio.ac.jp/ijikai/>

## 慶應カードのご案内

絆のチカラ。……慶應カード

慶應義塾では、関連組織である株式会社慶應学術事業会と各クレジットカード会社と提携して、塾員・教職員および塾生を対象としたクレジットカード、慶應カードを発行いたしております。

今年度より維持会へのご寄付について、クレジットカード決済も可能となりましたので、是非この機会にご入会をご検討頂き、引き続き塾生たちのご支援を賜れれば幸いです。

### 支える

慶應カードへのご入会およびご利用代金の一部は、自動的に奨学基金に支援される仕組みになっております。カード会社への年会費以外にご負担いただくことなく、塾生への支援が可能となり慶應義塾との絆をさらに強められるカードです。

昨年度は特に「慶應義塾東日本大震災被災塾生特別奨学金」として10,948,859円が寄付されております。



### 学ぶ

慶應カードは、慶應義塾図書館や三田キャンパスの社中交歓萬來舎の入館証としてそのままご利用いただけます。また慶應丸の内シティキャンパスの講座受講料の優待、慶應義塾大学出版会刊行物の優待などが受けられます。



### 楽しむ

野球、ラグビー、アメリカンフットボールの慶早戦やコンサートのご招待券のプレゼントをはじめ、ミュージカルや歌舞伎、劇団四季などのチケットの優待や先行販売。さらにホテル・レストラン・旅行会社・美術館等の「慶應カード協力店」で各種優待を受けることが可能です。

### ブランドをお選び頂けます。

慶應カードは、多くの提携ブランドの中からお好きなブランドをお選びいただけます。セキュリティを考慮したICカードや写真つきカード、さらには話題の「おサイフケータイ®」に対応しているカードもお選びいただけます。

●「おサイフケータイ」は株式会社NTTドコモの登録商標です



ご入会資格

慶應義塾大学  
ご卒業生の方(短期大学を含む)

慶應義塾専任の教職員の方

特選塾員の方

※家族会員は配偶者の方のみお申込いただけます。

### 慶應カードの資料請求・最新情報は?

慶應カード

検索

または <http://www.keiocard.com/>



携帯サイトは

こちらから

### お問い合わせ・資料請求先

株式会社慶應学術事業会 慶應カード事務局

Tel:03-3453-3854

営業時間 平日8:30 ~ 17:00

E-mail : [info@keiocard.com](mailto:info@keiocard.com)

発行日 2012年9月15日

発行 慶應義塾基金室 維持会担当

●ご意見・ご感想をお寄せください。

## 慶應義塾維持会 News Letter No.5

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

E-mail : [kikin-box@adst.keio.ac.jp](mailto:kikin-box@adst.keio.ac.jp)

TEL : 03-5427-1545 FAX : 03-5427-1546

<http://www.kikin.keio.ac.jp>